

# 3 中高年女性のキャリア設計と 高齢期の展望

—— 正社員 WEB 調査 ——



独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構

Japan Organization for Employment of the Elderly, Persons with Disabilities and Job Seekers

# は し が き

本書は、「65歳定年時代における高齢社員の人事管理研究」プロジェクト（大木栄一委員長）において中高年女性（正社員）のキャリア設計と高齢期の働き方の展望を把握するために実施した調査結果を紹介したものです。

人生100年時代を迎え、高齢期における就業促進が政策課題となっています。60歳代前半層の男性の場合、就業者の割合が既に8割を超えています。今後は男女差が大きい50歳代後半から60歳代の女性の就業率上昇が、働き手全体の拡大を左右する鍵となります。

2004年改正の高年齢者雇用安定法施行以降、日本企業は徐々に60歳以降の人材活用を進めるために、人事管理を整えてきました。その対象は主に定年前に基幹業務を担った男性社員が中心でした。高齢者雇用の課題を検討する場合も、正規雇用の男性を前提に議論がなされてきました。一方、女性社員は高齢期に至るまでのキャリアの推移や雇用形態が男性に比べて多様であり、仕事と生活との関係、社会保険加入状況等にも個人差が大きいという特徴があります。

女性の高齢期の働き方を考える場合、職業生活設計、企業の人事管理、社会政策など幅広い視点から考えることが必要です。本プロジェクトでは、個人の側からのアプローチとして、働く中高年女性の意識と就業環境との関係に注目し、定年までの定着や高齢期の就業継続を促進する要因を検討しています。本書は、その検討過程で収集した調査データ（WEB調査）の結果を紹介しています。企業の人事担当の皆さまが、人事戦略や人事管理を設計し、現場への支援策を検討する際にお役に立ていただければ幸いです。

2020年2月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

雇用推進・研究部

## 令和元年度 「65歳定年時代における高齢社員の人事管理研究委員会」

### 【敬称略】

#### （委員長）

大木 栄一 玉川大学経営学部 教授

#### （委員）

大嶋江都子 株式会社前川製作所 コーポレート本部人財部門係長

金崎 幸子 キャリアコンサルタント

小西 敦美 日本クッカー株式会社 伊勢崎工場管理部長

藤波 美帆 千葉経済大学経済学部 准教授

八重樫尚人 日本水産株式会社 人事部労務健康企画課長

#### （機構）

矢田 玲湖 雇用推進・研究部長

宮本 隆 雇用推進・研究部研究開発課長

杉山 守 雇用推進・研究部研究開発課長補佐

鹿生 治行 雇用推進・研究部研究開発課専門役

及川つかさ 雇用推進・研究部研究開発課開発企画係

菅 弥寿子 雇用推進・研究部研究開発課開発企画係

【執筆者】

はじめに 問題意識の背景	1
I 正社員調査の概要	4
II 勤務先の高齢期雇用の状況と自身の就業に関する意向	9
III 仕事満足度、人事制度への評価、キャリア設計	22
IV 高齢期の働き方と生活の展望	30
V 企業への定着意識別にみた女性正社員の状況	35
VI まとめ	
～中高年正社員調査集計結果の注目ポイントとインプリケーション～	53

**<巻末資料>**

『中高年社員のキャリア設計と高齢期の展望に関するWEB調査』アンケート調査票	57
『中高年社員のキャリア設計と高齢期の展望に関するWEB調査』に関する アンケート調査結果	77